

(様式第3号)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・コンプライアンスに対するeラーニング研修を実施しており、内部通報制度として相談窓口を設けている。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3				16.1 16.2 16.7			
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントに対するeラーニング研修を実施している。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・毎週水曜日をノー残業デーとしている。 ・36協定を締結し長時間労働の対策を行っている。 ・毎月の労務状況を集計し、現状把握・対策の検討を実施している。									8.5 8.8								
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・国籍問わず同一条件で雇用している(労働条件通知書)				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3						
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・安全衛生委員会を設置し、定期的な会合を実施し、労働安全衛生向上に努めている。			3						8								
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスの取り組みとしてストレスチェックを行っている。ストレスチェック時の高ストレス者に対しては、カウンセリングを勧める等の対策を講じている。			3														
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・障がい者雇用、定年再雇用を行い、女性管理職登用、外国人採用の実績もある。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・役員、管理職の研修を実施している。 ・資格取得支援制度を採用。				4	5.5				8	9							
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・随時顧問社労士に相談し対応している。					5.5				8.5		10.2 10.3						
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・毎年、健康診断を実施している。			3						8								
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の種類・量などを把握している。産業廃棄物は、専門業者により、固形燃料のリサイクルに回して適正に処分している。											11.6	12.4 12.5	14.1				
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・電力使用量及びガソリン使用量を集計し、温室効果ガスの排出量を把握している。									7.3			13					
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・照明をLED化により電力使用量を削減し、CO2排出の抑制に取り組んでいる。									7.2 7.3			12.4	13.3				
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・独自のグリーン調達基準を設け、法令で規定されている環境負荷物質の使用を抑制している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・人体や環境に影響を及ぼす有機溶剤等はMSDSに従い適切な管理・運用をしている。						6.6								15			
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・ペーパーレス化を推奨し、紙資源や印刷資源の削減に努めている。												12.5	14.1	15			
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・自社の水利用状況を把握し、使用量削減に努めている。						6.4 6.6						12					

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
																													
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域のスポーツチームとスポンサー契約をしている。 ・地元の祭りを後援している。 ・地域の美化活動に定期的に参加している。				4									9		11	12			14	15			17		
33	地域貢献・社会貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・テープの巻き芯(紙管)をリサイクルに回し、その利益で「緑を守る」活動に参加している(ニチバン巻心ECOプロジェクト)。 ・寄付型自動販売機を設置し、社会貢献事業への寄付を行っている。 ・月1回事業所周辺の地域クリーン活動を行っている。 ・有志により会社としてボランティアに参加している。			3	4		6											11				14	15			17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地産地消、地産外販)している	チャレンジ	・地元人材の活用を積極的に行っている。													8	9			11	12							
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念、経営目標を公表し、それに沿った業務目標を個々に設定するようにしている。														8	9									17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・専門家と相談し、法律に沿った規定となるよう適宜改定している。																								16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・サステナブル委員会を組織し、SDGs、ESG活動に取り組んでいる。																								16	
38	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・決算説明会、株主総会、東証への開示等、定期的に必要情報を発信している。																							16	17	
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスクに適切に対応できるようにするための計画や活動を行うため、「危機管理に関する規定」を運用している。																								16	
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・コンプライアンスに対するeラーニング研修を実施している。				4.4																				16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・「危機管理に関する規程」を定めている。																9			11		13 13.1			16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ																8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
フードロスを減らす取り組みを行っている。	自販機業者と提携し、賞味期限の近い飲料を従業員に安価で提供している。													12.3 12.5				
エコキャップ活動への参加	全事業所でPETボトルのキャップを集め、ポリオワクチンへの寄付を行っている。	1		3.b														

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)